

平成24年10月18日

会員各位

社団法人 全日本病院協会  
会長 西澤 寛俊

「入院医療等における高度急性期・一般急性期、亜急性期、慢性期に関する長期入院等における患者の実態像調査」  
実施に関する協力依頼について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業運営につきご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、中央社会保険医療協議会の診療報酬調査専門組織（入院医療等の調査・評価分科会）のもと、医療機関を対象として、病院機能に合わせた効率的な入院医療の推進、医療提供体制が十分でなく医療機関の機能分化を進めることが困難な地域に配慮した評価の検討、入院医療や外来医療の機能分化の推進や適正化に向けた検討、診療報酬点数表における簡素化の検討、医療機関における褥瘡の発生等の状況の検討等、診療報酬改定にあたっての政策立案に資する基礎資料を整備することを目的として、標記の調査が実施されることとなりました。

本調査は、中央社会保険医療協議会における診療報酬上の評価の検討に係る議論のための重要な資料となるものであり、当該調査の実施にあたり、厚生労働省保険局から、当協会に対して調査への協力依頼がありました。

つきましては、調査票の送付を受けた会員病院にあつては、本調査の趣旨をご理解の上、お忙しいところ大変恐縮ですがご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

なお、本調査業務に関する調査票は、厚生労働省が委託した業者から、対象となる施設に対して後日送付される予定となっておりますことを申し添えさせていただきます。

敬具